

平成 29 年 5 月 1 日

各 位

『やまがた地鶏』生産拡大事業に係る融資対応のお知らせ

－ 山形銀行と日本政策金融公庫が連携 －

このたび株式会社 山形銀行（頭取 長谷川吉茂）と株式会社 日本政策金融公庫山形支店（支店長 内田裕彦）は、養鶏業を営む兼子土木株式会社（代表取締役 兼子友理子）に対し、「やまがた地鶏」の拡大生産に伴う融資を連携して対応いたしましたのでお知らせします。

兼子土木株式会社は元々建設業を営む法人であります。新たな収益基盤の確立と地域振興のため、平成24年から養鶏業に参入し「やまがた地鶏」の生産を開始しました。

赤笹シャモと名古屋種などを掛け合わせて生まれた「やまがた地鶏」は歯ごたえとコクのある美味しい鶏肉として県内外で高い評価を得ており、需要が高まっています。

大江町においても「やまがた地鶏」を町の特産品に位置付けており、『大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略』においても積極推進していく事項に掲げております。これに伴う事業として大江町では県内初の地鶏の公設処理場を整備済みです。

このような一連の動きの中で、当社は補助事業(山形県畜産生産拡大支援事業)を活用して鶏舎を増設し「やまがた地鶏」の生産を年間3,000羽から10,000羽に増産することといたしました。

今回の鶏舎整備事業にあたり、山形銀行は日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）の取扱いを行い、長期かつ低利での融資が可能な制度資金の活用をご提案し当社の円滑な資金調達をサポートいたしました。

当行と日本政策金融公庫は、業務連携・協力に関する覚書を締結しており、今後も相互に連携し、県内の農業経営者を積極的に支援することで、地域経済の活性化に努めてまいります。

< 協調融資の概要 >

企業名	兼子土木 株式会社	代表者	兼子 友理子 (カネコ ユリコ)
住所	山形県西村山郡大江町大字藤田 1 2 7 - 1 4		
事業内容	ハウス型鶏舎 4 棟を建設し、生産規模を拡大する。当該事業により、スケールメリットによる生産コスト低減を図る。平成 29 年度中に生産羽数を 6,000 羽程度にまで、平成 30 年度には 10,000 羽に拡大する。		
支 援 内 容			
鶏舎整備費用（補助残）および立ち上がり運転資金 農業経営基盤強化資金（通称：スーパーL 資金） 1 4 百万円の融資			

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 山形銀行 広報 CSR 戦略室 二宮 Tel 023-623-1221
株式会社 日本政策金融公庫山形支店 農林水産事業 高橋徹・守屋 Tel 023-625-6135



山形銀行



日本政策金融公庫 山形支店